

別紙 1

① 第三者評価機関名

(公社) 神奈川県社会福祉士会

② 施設の情報

名称：すぎなの郷	種別：障害者支援施設	
代表者氏名：長島 里香	定員（利用人数）：80名	
所在地：神奈川県厚木市小野 2136		
TEL：046-247-0311	ホームページ： http://www.sugina.or.jp	
【施設の概要】		
開設年月日 平成 16 年 4 月 1 日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 すぎな会		
職員数	常勤職員： 31 名	非常勤職員 11 名
有資格職員数	(資格の名称) 名	(資格の名称) 名
	サービス管理責任者 2 名	
	社会福祉主事任用資格 6 名	
	看護師 2 名	
	保育士 8 名	
	管理栄養士(兼) 1 名	
	介護福祉士 5 名	介護福祉士 3 名
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)
	1 人部屋 23 室、2 人部屋 33 室	食堂 5 室、作業室 2 室、相談室 1 室、医務室 1 室、浴室 6 室、静養室 1 室

③ 理念・基本方針

すぎな会の経営理念

1. 人間としての尊厳を重んじる姿勢を貫きます。
2. 利用者それぞれのライフステージにおけるケアを目指します。
3. 地域と協調し、地域の一員としての役割を果たすよう努めます。
4. 経営体としての安定性・積極性・信頼性を追求します。

本理念に基づき、職員・保護者・理事者が力をあわせて、すぎな会発展のため最善を尽くします。

④ 施設の特徴的な取組

<p>1. 主な活動内容</p> <p>①日中活動</p> <ul style="list-style-type: none">・自由手工芸活動：室内活動(作品作り、手工芸、機織り、散歩、その他)・ゆったり活動：訪問音楽、室内活動、散歩・教室活動：押し花、茶道、太鼓の会・セラピー活動：動物介在、音楽療法、おしゃれ教室 <p>②朝の体操</p> <p>③余暇活動</p> <p>2. 事業所として力を入れて取り組んでいる点</p> <p>①日中活動の充足</p> <p>②高齢化・重度化に伴う支援技術習得の取り組み、人材育成</p> <p>③職員間の情報共有と連携、支援体制の強化</p>

⑥ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021（令和3）年7月22日（契約日） ～ 2022（令和4）年3月31日 （評価結果確定日）
前回の受審時期（評価結果確定年度）	2016（平成28）年度

⑦ 総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>①安心・安全で楽しい食事提供に努めている。</p> <p>食支援プロジェクトを立ち上げ嚥下機能が低下した利用者が安心して食事ができるように支援している。個々の利用者の栄養ケアマネジメントを実施し、3か月ごとに栄養スクリーニングを実施し本人に合った食事が提供できていることを確認している。本人状況の変化に応じて医療相談を行い、必要があれば摂食嚥下機能の評価を受けている。毎日管理栄養士、看護師が連携し巡回し利用者にあった食事形態（ソフト食、軟菜食、一口大など）を確認している。「安全な食事介助」マニュアルを作成し勉強会を開催し職員に周知し適切な食事介助に努めている。また、毎月誕生日食のアンケートをとり利用者の希望を食事に反映し、コロナ禍で自粛している面もあるが季節に応じた食事会や夏の流しソーメン、冬の鍋物など豊かな食事を利用者が楽しんでいる。</p>
--

②高齢化・重度化が進む利用者の日中活動を支援している。

利用者の高齢化が進み3人に1人は70歳を超えている。日中活動参加への意欲低下が見られる利用者が増え、ADLの低下による介護支援も増えている。排泄や入浴の支援に多くの時間と人員を必要とする状況の中で、生活の中の楽しみや体力維持につながるような支援を考え、毎朝15分間の体操の時間を設けた。サザエさん体操やきよしのズンドコ節など工夫し、短い時間でも朝の体操を毎日行うことで利用者の一日の生活のリズム作りにつながっている。また、利用者の居住しているフロアごとに訪問音楽会を開催し、利用者と職員と一緒に歌い楽しい時間を過ごしている。短い時間でも利用者が声を出すことで自分自身を表現し表情が明るくなっている。大きな声で歌い口を動かすことでスムーズな嚥下機能の維持につながっているようである。

③職員の人権擁護意識の強化に取り組んでいる。

「職員は、『障害を持つ個人が尊厳を持って、その人らしい自立した生活を送れるように支える』責務があること」を職員倫理綱領、職員行動規範の冒頭に明記し利用者の人権擁護に取り組んでいる。年2回人権チェックリストを用いて全職員が自身の人権擁護の取り組みの自己点検を実施している。職員行動規範等を明記したクレドを職員一人ひとりが常時携帯し、日常的に人権擁護について自身の行動を振り返り注意を喚起している。また、人権委員会が2か月毎に人権標語を作成し施設内各所に掲示し職員の人権意識の強化を図っている。

◇改善を求められる点

①入所施設から地域移行を希望する利用者への支援の強化が期待される。

すぎなの郷は主に高齢者・病弱者を対象にした入所施設であり、利用者の地域移行を積極的に推進している状況ではないが、近年入所した利用者の中には今後地域移行の可能性のある人もでてきている。法人の取り組みとして、利用者のライフステージにおけるケアを理念に掲げておりその実現に向けて今年度日中サービス支援型のグループホームを開設している。今後地域移行を希望する利用者への適切な支援が期待される。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価受審結果を受けて、評価を受けた内容については日頃の取り組みにおいて励みとなり、改善点については課題を共有し取り組む必要があること等確認出来ました。利用者支援の質の向上に繋がるよう、取り組んでいきたいと思っております。